

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 1 月 30 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		国の定めた基準以上の広さもあり、療育と余暇の部屋を分けています。	今後も定員に合ったスペースを確保し、療育と余暇活動の充実に努めて参ります。
	2	○		配置数は児発管、保育士、児童指導員等の適切な人員が配置出来るよう、ローテーションを組んでいます。	今後も適切な人員配置に努めます。
	3	○		屋内は段差がないよう工夫していますが事業所が2階になっているため、階段の上り下りの際は複数で対応しています。	今後も一人ひとりに応じた適切な環境設定に努めていきます。
	4	○		毎日掃除を行っています。また療育の部屋と余暇の部屋を分けて活動に合わせた空間を作っています。	今後も丁寧な掃除を行い、利用児童が快適に過ごせるように努めていきます。
業務改善	5	○		毎日の引継ぎを行う事で、業務改善を進めています。	今後も同様に引継ぎを行い、業務改善に努めていきます。
	6	○		評価表に書かれているご意見を基に、改善するように努めています。また玄関にご意見箱を設置しています。	今後も同様に業務改善に努めます。
	7	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しています。	事業所の自己評価、保護者様からの評価を踏まえ、サービスの質の向上に役立てて参ります。
	8		○	現時点では、第三者による外部評価は、行っておりません。	現在は第三者による外部評価を行っていませんが、今後は業務改善を行っていただけるよう設置を検討中です。
	9	○		定期的に研修を行ったり、地域の研修にも参加しています。	今後も研修を通して職員の資質の向上を図っていきます。
適切な支援の提供	10	○		計画を見直す際には必ずアセスメントを適切に行って、計画の更新と作成に臨んでいます。	今後も継続してアセスメントを適切に行っていきます。
	11	○		統一化されたアセスメントシートを使用し、情報は個人ファイルに保管し、活用しています。	今後も継続して使用し、適切にアセスメントツールを活用していきます。
	12	○		ガイドラインに沿った支援を行っています。	今後も継続して項目の選択・支援内容が適切になるように努めていきます。
	13	○		計画に沿った支援を行っています。	今後も、児発管を中心に計画に沿った支援ができるように努めていきます。
	14	○		個別支援計画時や、活動プログラムの作成時には職員全員で話し合いをしています。	今後も児発管を中心に個別支援計画やプログラム立案は、職員全員で関わり、より良い支援ができるように努めていきます。
	15	○		毎日引継ぎの中で話し合いプログラムの工夫を行い集団療育等も取り入れています。	今後もプログラムが固定化しないように工夫に努めていきます。
	16	○		児童の状況に応じた計画を作成しています。	今後も保護者様と共通理解の元、特性や状況に応じて支援計画を作成していきます。
	17	○		毎日引継ぎを行い、前日の様子を振り返り、その日の状況に合った支援を行っています。	今後も同様に引継ぎを行い、確認していきます。
	18	○		その日のうちに伝えるべきことは出勤している社員全員で共有し、話し合い、翌日には全員で情報共有を完了しています。	今後も同様に職員全員で振り返りと共有を行っていきます。
	19	○		日々療育内容を記録し、職員間で見直しを行い、改善に取り組んでいます。	今後も同様に記録を取り検証、改善に繋げていきます。
関係機関や保護者との連携	20	○		定期的に行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。	今後も同様にモニタリングと計画の見直しを行っていきます。
	21	○		児童の状況に精通している児発管が担当者会議に参加しています。	今後も同様に行っていきます。
	22	○		保育所等と話し合いを行い、連携を図っています。	今後も更に関係機関と連携していきよう努めていきます。
	23	○		現時点では、対象児童のご利用がありません。	医療的ケアが必要な児童が利用できるようになった場合は、関係機関との連携を行う準備はできています。
	24	○		現時点では、対象児童のご利用がありません。	該当する利用者様がおられませんが、医療的ケアが必要な児童が通所することになった場合は医療機関や主治医と連携体制を整えるよう努めます。
	25	○		支援会を行い、情報共有や支援の統一に努めています。	保護者様のニーズに合わせて、今後も関係機関と連携していきます。
	26	○		就学前に学校で相談員や各関係機関と共に会議を行い、共通理解に努めています。	保護者様のニーズに合わせて、今後も関係機関と連携していきます。
	27	○		担当者会議に参加し相談支援専門員等から助言を受けています。	今後も同様に行っていきます。
	28	○		地域の図書館などには足を運んでおりますが、交流を意図した企画は行っておりません。	長期休暇等を利用し、受け入れ可能な施設があれば企画や催しへの参加を検討していきます。
	29	○		会があれば主に管理者が参加するようにしています。	今後も同様に継続して行っています。
保護者への説明責任等	30	○		毎回送迎時に、状況や課題等を報告し、連絡帳にも状況や記入し、共通理解を深めています。	今後も同様にあらゆる機会を通じ、共通理解を図って参ります。
	31	○		保護者様のお悩みやご相談にのり、一人ひとりに寄り添った支援を心掛けています。	今後も寄り添った支援を心がけて参ります。
	32	○		契約時に重要事項説明書、契約書を通じ、丁寧にご説明しています。	今後も詳しく説明を行い、ご理解頂けるまで丁寧に行います。
	33	○		支援計画について詳細に説明を行った上で、同意を頂いています。	今後も共通理解の元、計画を立案して参ります。
	34	○		ご相談があった場合には、職員全員で話し合い、より良い助言や支援を行えるようにしています。	お話をよくお聞きし、丁寧に回答させて頂けるよう、今後も努めて参ります。
	35	○		参観日を設け、保護者様同士の関わる機会を設けました。また保護者様から掲示物等の依頼があれば皆様の目に留まる場所に掲示しています。	引き続き保護者会を計画し、保護者様同士が関わって頂けるように企画して参ります。
	36	○		現時点までに重大な苦情を頂くことはありませんでしたが、ご意見箱を設置し、ご意見があった場合、速やかに対応させて頂くよう努めています。	今後も同様に、ご意見や申し入れなどには迅速丁寧に対応して参ります。
	37	○		季節ごとに「おたより」を発行しています。またホームページのブログで月に1回程度、事業所の活動内容をご紹介します。サイトについては保護者様へご案内を配布しています。	定期的な「おたより」、ホームページでの活動報告は継続していきます。
	38	○		個人情報に関わる内容については充分注意して取り扱っています。	個人情報に記載された書類は、今後も取り扱いは充分注意を払い、また施設可能な書庫に保管しています。
	39	○		保護者様や利用児童に合わせて色々な方法で伝達するよう努めています。	口頭での連絡や相談への対応だけでなく、重要なことは書面にてお伝えし、児童や保護者様にご理解頂けるよう、配慮して参ります。
非常時等の対応	40	○		事業所のイベントに保護者様以外の地域の方々をご招待する機会はありませんでした。	保護者様のご意向を確認し、同意を得た上で企画を検討して参ります。
	41	○		保護者の目に見える所にマニュアルを置き訓練を行うなかで定期的に見直しを行っています。	保護者様にも都度周知、確認しやすいよう掲示場所への配慮も行って参ります。
	42	○		定期的に地震や火災、不審者等の訓練を行っています。	命を守ることを第一に考え、今後も火災、地震、風水害についての避難訓練を毎年定期的に行なって参ります。
	43	○		アセスメントを行い、職員全員で周知徹底しています。	保護者様からしっかりと状況について確認出来るよう努めて参ります。
	44	○		アレルギーが疑われる児童に関しては保護者様と情報共有して頂き、職員間で把握しています。	アレルギーについては細心の注意を払い、保護者様へも医師の指示書を依頼するなど情報の把握に努めていきます。
	45	○		その都度報告書に記載し、職員全員で周知徹底しています。	今後も継続して記録作成を行い、再発防止に努めて参ります。
	46	○		随時、社内研修を行っています。	今後も継続して研修を続けて、適切な対応ができるよう研鑽に努めます。
	47	○		原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、止むを得ず必要な場合には、児童や保護者様に充分なご説明を行い、承諾を得て計画に取り入れるようにしています。	できるだけ場合拘束は行わないことを旨とし、やむを得ない場合は今後ともご理解頂き、手順を踏んで適切に行うよう努めます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。